

ニュースレター

NO. 76

発行 / NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ
事務局 / 〒 206-0802 稲城市東長沼 2112-1
稲城市地域振興プラザ 1F
TEL 042-378-2112 FAX 042-378-6971
E-mail : info@i-inagi-support.org
https://i-inagi-support.org/

市民活動のネットワーク化を促進します！

サポートセンター 2024年度の事業計画

市民活動サポートセンターいなぎ（以下、サポセン）は、市民と市民活動団体、行政、企業による「協働のまちづくり」に寄与することを基本方針に、様々な市民活動の発信と発展を目指して各種の事業を行っています。2024年度の事業計画の中から、今年度新たな取り組みを行うものをご紹介します。

市民活動交流フェスタ（年1回実施）

現在、サポセンには101団体が利用登録していますが、団体間の交流機会が少ないことから、団体の枠を越えた市民同士のつながりを作れる事業として実施します。市民活動団体がフリーに交流することでネットワークを充実させ、ともに稲城のまちづくりを話し合える場を提供します。（下の記事を参照）

市民活動講座（年1～2回実施）

従来、「NPO講座」として実施してきました。市民や活動団体を対象に、団体運営や事業展開など市民活動の入門編として基本的な講座を開催します。

稲城の魅力発信事業（通年実施）

市民活動が活発な稲城の魅力創造・発信するため、市民活動団体や様々な関連団体との連携を強め、「稲城の魅力発信ネットワーク」を始動します。

このほか、サポセンの各種事業についてはwebサイトをご覧ください。



ご案内 2024年 市民活動交流フェスタ

歩いてつながる★子どもたちに残したい稲城

今年の市民活動交流フェスタは、前半に地域の魅力ポイントをめぐるながらのクイズラリー、後半は「子どもたちに残したい稲城」についてのフリーディスカッションを通して、稲城の魅力を再発見するとともに参加者同士の交流を深める二部構成で行います。

歩いて 話して 仲間になりましょう！



日時：11月9日（土） 午前10時～午後3時（予定）

会場：稲城市地域振興プラザに集合

※予め設定された2kmほどのコースをウォーキングしながらクイズに答え、地域振興プラザに戻ってディスカッションを行います。

参加費：無料

※お昼は、市民活動団体が用意した軽食を自由に選んで召し上がっていただくこともできます。（有料）

○参加申込み・問合せ：市民活動サポートセンターいなぎ TEL.042-378-2112 email info@i-inagi-support.org

市民活動団体のネットワーク化



いなぎFFネットワーク
副代表 西田和弘さん

● 団体のひとこと紹介

FFとは、フレンドリー&ファミリーを表す。2001年に稲城五中のPTA有志が、「親でも先生でもない第三者の大人との関わりを通して、多感な思春期を乗り越える助けをしたい」との思いで活動を始めた。中高生の子どもたちが地域の大人（ボランティアスタッフ）や友だちとおしゃべりやゲームをしたり、勉強や運動をして、ホッとくつろげる居場所を提供している。

● 現在の活動状況は？

城山文化センターを拠点に、毎週水曜日に居場所づくり、金曜日に試験勉強など学習支援の活動をしています。3年半に及んだコロナ禍でも、子どもたちの参加は減ったものの、活動は休むことなく続けてきました。

コロナ禍で参加者が減少したので、昨年度は向陽台小学校の6年生に重点的に周知活動を行いました。その子どもたちが中学生になって、定期試験などの前に「FFに行けば学習支援をしているよ」と口コミで活動が広まり、友だち同士で集まって試験勉強するなど、現在は参加者が増えてき

ています。

地域的には参加者の85%ほどが向陽台と百村地区の子どもですが、若葉台や平尾、押立から来てくれる子もいます。

スタッフは20名ほどいて、活動には常に十数名が参加し、学習支援やお世話係など役割分担してくれています。

● 現在の課題は？

子どもたちに勉強を教える学習支援を担当してくれるスタッフが不足しています。これまではコロナ禍で子どもの数が少なかった所以对応できていましたが、現在は一気に参加者が増えて向陽台地区の外からもお父さんが来られるので、スタッフのほうも地区を越えて、私たちの活動に共感してお手伝いいただける人が出てくると嬉しいです。

● 活動団体のネットワーク化について

2022年のサポセンの市民活動フェスタで知り合った、子どもの居場所づくりに取り組む団体で連絡会を立ち上げ、情報交換や相互に活動のお手伝いなどをしていましたが、今は連絡会としての会合は開いておらず、個人間のつながりで活動を支援し合ったりコラボレーションしたりしています。また、FFネットワークは、学びナビさんとはコラボレーションしています。

城山文化センター内の城山児童館が、この春から民間事業者による運営に移行しました。色々と工夫されて、例えば平日の17時までは小学生タイム、17時以降は中高生タイムということで、中高生の居場所づくりにも取り組むようになりました。その意味では私たちと同じ課題認識を持たれているので、児童館に来た子に「FFにも行ってみなよ」と送り出してくれたりもしています。

今後は、そのように思いを同じくする民間事業者ともネットワークを作ったりコラボレーションすることも考えられますね。

● サポセンに期待することは？

地域で活動する団体とコミュニティ活動をしたい人とのマッチングを主導してほしいです。団体同士、人と人、人と団体が会い、つながりを作るためのイベントの開催や、webなどデジタルを介した出会いと交流の仕組みづくりをお願いしたいです。

いなぎFFネットワーク
web サイト



市民活動サポートセンターいなぎ（以下、サポセン）が様々な市民活動団体との連携を深め、稲城の魅力創造・発信するためのネットワーク化を進めるにあたり、市民活動をリードするキーパーソンに、活動団体のネットワーク化・コラボレーションへの考えを伺います。今回は「子どもの居場所づくり」に取り組む2つの団体にお話を伺いました。（文責・種田匡延）



クッチイナいなぎ 代表 中村 燈さん

● 団体のひとこと紹介

クッチイナとはイタリア語で台所の意味。「たべてつながる稲城の台所」をコンセプトに、稲城青年会議所が母体となって2017年に活動を開始した。参加者が調理や食事をもとにするなかで親子や地域コミュニティの絆を深め、稲城の子どもを孤食から救うことを目指すコミュニティ型の子ども食堂。

● 現在の活動状況は？

コロナ禍の最中は人が集まる活動をする事ができず、2年ほど休止していました。現在は2か月に1回ほどの頻度で子ども食堂を開催しています。本当は毎月開催したいと思っているのですが…

活動には親子や家族で参加される方が多かったのですが、以前はよく参加してくれたお子さんがコロナ禍の間に成長して、家族で行動するような年齢でなくなったり市外に転居するなど、参加者層が交代した感じです。

スタッフは5名で運営していますが、子ども食堂のときは参加者のお父さんお母さんが手伝ってくれるので、ス



タッフは3人集まれば活動できます。

● 現在の課題は？

子ども食堂の会場として、現在は城山文化センターか中央文化センターの実習室を借りていますが、固定した活動拠がないのが以前からの悩みです。施設の予約状況とスタッフの都合を合わせるのが大変で、必ず施設を予約できるという確証がないので、例えば「毎月第〇何曜日に開催します」と定期的な開催がアナウンスできないのです。

そのため、活動の広報や告知も課題です。主にSNSで子ども食堂開催の告知をしていますが、開催の都度の告知になってしまうので、効果は今一つな感じです。今は、地道にコツコツと続けていくしかないと思っています。

● 活動団体のネットワーク化について

ネットワーク化については、以前、稲城市に子ども食堂を主催する団体の協議会を作ってほしいと要望したことがあります。社会福祉協議会が連絡網を作ってくれて、2度ほど集まって情報交換などをしたことがありましたが、コロナ禍で自然消滅してしまいました。

子ども食堂を行っている団体や法人は、それぞれ対象としている子ども（目的）や活動の状況が異なるので、みんなと一緒に何かをやろうという感じではないですね。

クッチイナいなぎの普段の活動は「一緒に食事を作って食べる」ということですが、支え合う会みのりや東京稲城里山義塾と一緒にイベントを行ったこともあり、活動テーマは違っても「一緒にやろうよ」と言ってくれるグループがあれば、普段とは違った子どもたちに有意義な経験ができるならば、異業種交流みたいなコラボレーションも大歓迎です。

それによって互いの団体の参加者も新しい世界を知れたり、相互乗り入れができるかもしれません。そういう意味では、団体のネットワーク化も同じテーマの団体同士だけでなく、様々な形が考えられますね。

● サポセンに期待することは？

イベントの告知や参加者集めの支援など「市民活動の広報役」をお願いしたいです。サポセンのwebサイトなどで登録団体のイベント情報を集約して告知したり、団体のコマーシャルなどをしてほしいですね。

クッチイナいなぎ
Facebook ページ



2023年度のNPO講座を、3月20日に稲城市地域振興プラザ4階会議室で開催しました。この講座は、市民活動を始めた人や、市民活動団体に所属している人を対象に、活動団体の組織力向上について学んでいただくことを目的に、年1回開催しているものです。

今回は、市民活動を次世代に継承し、世代交代をしながら団体を継続・発展させていくノウハウを学ぶため、非営利型株式会社 Polaris 代表取締役の市川望美氏を講師に迎え、「世代循環型 NPO」をテーマに Polaris の取り組みなどをお話いただきました。

講義のあとはワークショップを交えて意見交換を行い、参加者の悩みや質問に答えていただくなど、双方向の講座となりました。



講師の石川望美氏

第18回通常総会を開催しました

当センターの第18回通常総会を、去る5月25日に稲城市地域振興プラザ4階会議室にて開催し、下記の議案について原案どおり承認されました。

- ① 令和5年度事業報告
- ② 令和5年度活動計算および監査報告
- ③ 剰余金処分案
- ④ 令和6年度事業計画(案)
- ⑤ 令和6年度活動予算(案)

また、昨年度は当センターの設立20周年記念式典を開催しました。今年度は記念誌を来年2月に発行する予定です。



市民活動サポートセンターいなぎ 理事・監事

役職名	氏名	担当事項	役職名	氏名	担当事項
理事長	角田 享	全体統括	理事	荻野 美鈴	市民活動フェスタ2024・市民活動講座・稲城の魅力発信事業
副理事長	中村 達也	市民活動団体等との協働事業・金曜サロンスペシャル・講師派遣・相談事業・手づくり市民まつり・指定管理者受託事業評価	理事	梅村 秀樹	webサイト・ブログ・Facebook・稲城の魅力発信事業・手づくり市民まつり
副理事長	野口貴美子	市民活動フェスタ2024・ニュースレター・市民活動支援講座・行政との協働企画講座・指定管理者受託事業評価	理事	三村大二郎	手づくり市民まつり
副理事長	村尾 義廣	市民活動団体等との協働事業・手づくり市民まつり・指定管理者受託事業評価	理事	安東 道正	市民活動フェスタ2024
副理事長	中村 燈	稲城の魅力発信事業・指定管理者受託事業評価	理事	田村 伸一	市民活動フェスタ2024・金曜サロンスペシャル・稲城の魅力発信事業
副理事長	種田 匡延	市民活動フェスタ2024・ニュースレター・市民活動講座・行政との協働企画講座・指定管理者受託事業評価	理事	浜田有里恵	市民活動フェスタ2024
理事	石黒 忠雄	金曜サロンスペシャル	理事	荒木 伸文	手づくり市民まつり
理事	井手 大	webサイト・ブログ・Facebook	理事	佐藤麻美子	市民活動フェスタ2024
理事	大塚 博之	稲城の魅力発信事業	理事	筑根 瑞恵	市民活動フェスタ2024・市民活動支援講座
			理事	室井 弘之	ニュースレター・手づくり市民まつり・行政との協働企画講座
			理事	湯浅栄理子	稲城の魅力発信事業
			監事	鶴飼 達彦	
			監事	石田 惇子	